

ものづくり交流館展示紹介 #11

京セラ KYOCERA



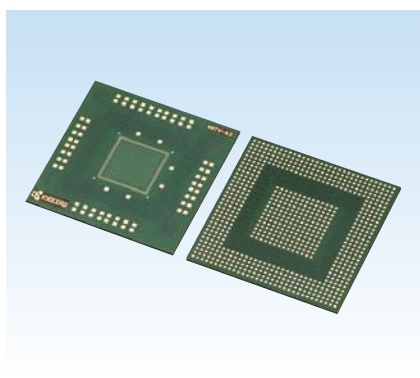
住んでよかった  
住みたくなる…綾部発情報  
すくらんぶる

市は、JR綾部駅北側の北部産業創造センター「綾部市ものづくり交流館」の展示スペースを1回5,100円で貸し出し、広報紙でも紹介しています。今回は、4月4日まで展示される京セラ京都綾部工場です。

最先端の技術で製造

京セラ京都綾部工場(本社、京都市)は平成17年、京セラSLCコンポーネツの本社・工場として味方町で操業を開始しました。平成26年、敷地内に第2工場を増設。平成28年に京セラに吸収合併、第3工場を増設し現在に至ります。

同工場では主に、電子機器に使われる「基板」を製造しています。電子機器本体を動かすために必要な情報が入っている「半導体」の電子信号を、機器本体に伝えるのが「基板」の役割。最先端の技術で製造する同社の製品は、第5世代移动通信システム(5G)やスマートフォン、ゲーム機



人の髪の毛よりも薄い基板を量産できる技術力が強み。電子機器の小型化・軽量化に寄与しています

■会社概要	
名称	京セラ株式会社
代表者	代表取締役社長 谷本秀夫
業種	製造業
資本金	1,157億300万円
従業員数	(綾部工場) 725人
電話番号	0773(42)6070
ホームページ	<a href="https://www.kyocera.co.jp">https://www.kyocera.co.jp</a>

など、私たちの身の回りの多くのものに使われています。

**社会貢献活動を推進**

同社は「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献すること」を経営理念に掲げ、CSR(企業の社会的責任)を積極的に推進。温室効果ガス削減や地域の子どもへの環境教育の場として、同社



京セラ京都綾部工場  
谷津 由尚 工場長

第4次産業革命と言われる現在、技術革新は5Gの登場でさらに加速しました。

市場も急成長しており、綾部工場では増産に向けて設備の拡充を図り、増員のための中途採用を積極的に行っています。最先端技術に使用される半導体用パッケージは、あまり人目に触れる部品ではありませんので、この機会にぜひご覧ください。



約2万4千平方メートルの広大な敷地を緑地化。春は美しい千本桜が咲きます

工場の南側緑地を5か年計画で整備しています。写真右。また、屋上には自家消費用も含め約1万2千枚のソーラーパネルを設置し、省エネ化を進めています。

今回、ものづくり交流館の展示では、同社の商品や会社概要をパネル等で紹介します。ぜひご来館ください。

「住んでよかった 住みたくなる…綾部発情報すくらんぶる」は、綾部市の施策・制度・イベント・名所・活躍する個人や団体…など、綾部のホットな市政情報や旬の話題を幅広くお届けします。